

作物名 **こまつな** (アブラナ科)

J A 2022 版

標準作型

○印・播種(種まき) □印・収穫

作 型	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
春まき			○	●●●●●●●●	●●●●●●●●	○						
初夏まき						○●●●●●●●	○					
秋まき									○●●●●●●●	○		

栽培のポイント

土壌の適性は広く、酸性土壌にも強いが、カルシウム欠乏症が出やすい。土壌水分で生育に大きく左右されやすいので、適切なかん水が必要となる。また、連作しても病気が出にくく栽培は容易である。

品 種	春まき (3月中旬～5月)	わかみ (サカタ)、きよすみ (サカタ)
	初夏まき (6月～7月中旬)	いなむら (サカタ)、きよすみ (サカタ)
	秋まき (9月～10月中旬)	わかみ (サカタ)、きよすみ (サカタ)

畑の準備 播種2週間前までに苦土石灰(10kg/a)、完熟堆肥(100kg/a)を施して耕起する。その後化成肥料を施して耕耘する。

元 肥	(1 a 当たり使用量)	
	化成肥料 14-14-14	10 Kg
		播種前

播 種 (種まき) まき溝は底面が平らになるよう丁寧につくり、覆土を均一にし揃って発芽させる。
 ※播種期は3月中旬～10月中旬
 うね幅は70～90㎝、株間3～5㎝、条間15㎝程度の南北植えとする(通路幅は40～50㎝程度とる)。

追 肥	(1 a 当たり使用量)	
	NK化成2号	5 kg
		生育期2回(適宜)

間引き 3～4日で発芽してくるので、厚まきのところは3～5㎝に間引く(厚まきは軟弱徒長の原因となるので注意する)。

水管理 生育を均一にするために播種後から発芽までの間、かん水をする。後半は水を控え硬めに育てる。

病虫害防除 白さび病：5～7月と10～12月の雨期に発生が多い。
 コナガ、キスジノミハムシ：被覆資材で成虫の侵入を防ぐ。
 キスジノミハムシ幼虫：土壌中の幼虫を粒剤の施用または太陽熱消毒で防除する。
 ※コマツナは生育が早いため、播種から収穫までの日数と薬剤の収穫前使用日数に十分注意する(特に夏季などの高温期には、注意が必要です)。

収 穫 草丈25～30㎝、葉数4～5枚になったら抜き取り収穫をする。
 5・6・9月まきでは収穫まで25日以内、7・8月の高温期では30日位、また10月下旬～11月まきでは、100日以上かかる。